



あんどん 行灯が幻想的に夏の夜を彩る

8月23日、富田林寺内町およびその周辺で、「じないまち四季物語2025『夏』第22回富田林寺内町燈路」が開催されました。

日暮れとともに約1000基の行灯に火が灯され、柔らかな光が江戸時代の風情が残る町並みを照らし、幻想的な雰囲気になっていました。当日は、浴衣姿で散歩する人やカメラで撮影を楽しむ人、出店に並ぶ家族連れなど、多くの人で賑わっていました。



きらめき農業塾合同式典（第4期閉講式・第5期開講式）

8月23日、レインボーホール（市民会館）で、「富田林市きらめき農業塾合同式典（第4期閉講式・第5期開講式）」が開催されました。

閉講式では、修了証書を授与された14人の塾生が、1年間の農家研修で学んだことを振り返り、受け入れ農家への感謝やこれから挑戦していきたいこと、各自の農

業への意気込みなどを熱く語っていました。

開講式では、市内外から集まった10人の塾生が、農業にかける思いを語っていました。第5期の塾生たちはこれから1年間、市内農業者から、農業技術だけでなく、農業の楽しさや厳しさも学んでいきます。



プロの漫画家による漫画講座

8月22日、中央公民館で、「プロの漫画家によるワンポイント漫画講座」が開催されました。当日は、約20人の子どもが参加し、本市出身のプロの漫画家である愛本みずほ先生（ふるさと富田林応援団アンバサダー）から、漫画を描く時のコツなどを教わりました。

参加した子どもたちは、プロの漫画家から直接アドバイスをもらえるという貴重な経験に、真剣に取り組んでいました。



喜志地区の稲刈りの様子

猛暑に耐え実った復興米

9月、喜志・東条地区で、「奇跡の復興米」の稲刈りが実施されました。この復興米は、東日本大震災の被災地、岩手県大槌町で津波にも負けずに残った稲穂にルーツを持ち、J A大阪南など地元の皆さんにより栽培されています。

参加した子どもたちは、慣れない作業に苦戦しながらも、一生懸命に稲穂を刈り取っていました。

また、市内の小学校5校の教育田でも実施されます。



家族で体験エコアクション！

8月16日、エコール・ロゼで、「デコとん2025」が開催されました。「デコとん」とは、「デコ活（脱炭素＋エコ）」と「とんだばやし」をかけあわせた環境イベントで、昨年度から開催されています。

当日は、多数の企業や団体などがブースを出展されました。参加した子どもたちは、打ち水アートやリサイクル工作など、さまざまな体験を思い思いに楽しみながら、環境について学んでいました。

